

(1) 水産施策等に係る現状報告

エ 磯焼け対策事業について

# 1 釜石市漁場磯焼対策事業

## (1) 目的

安定的な漁業所得の確保と漁村地域の復興推進、当市水産業の振興に資するため、採介藻漁業にて採取するアワビ、ウニ等の漁獲の安定に資する事業に要する経費に対して支援する。

## (2) 補助率等

補助率1/2、上限額50万円

## (3) これまでの実績 (令和4年度、5年度は実績なし)

年度	実施団体	事業内容
平成30年度	釜石東部漁業協同組合	養殖コンブを磯場に定着させる試験事業
令和元年度	同上	同上
令和2年度	唐丹町漁業協同組合	一定区画内のウニの駆除による藻場再生試験事業
令和3年度	同上	同上

## 2 ドローンを用いた藻場調査

### (1) 概要

岩手大学の協力を得て、天然海藻類の繁茂状況等を継続的に観測調査し、同調査の分析、データ活用に向けて取り組んでいるもの。

#### ① 令和元年度調査箇所

仮宿、桑ノ浜、箱崎白浜、箱崎漁港周辺

#### ② 令和2年度調査箇所

仮宿、桑ノ浜、箱崎白浜、箱崎漁港周辺、尾崎白浜、小白浜漁港、片岸漁港周辺（唐丹）

#### ③ 令和3年度調査箇所

令和2年度調査箇所を継続調査、新たな調査方法も検討

#### ④ 令和4年度調査箇所

大石漁港周辺、両石湾（愛の浜リーフ、かがみ浜）

#### ⑤ 令和5年度調査箇所

両石湾（愛の浜リーフ）

## 2 ドローンを用いた藻場調査

### (2) 事業実績（令和4年度）

- ① 大石漁港周辺やかがみ浜については、漁場全体のオルソ画像への合成が困難。  
大石漁港周辺は、海水が濁っており、海藻の写りが悪かった。  
かがみ浜は、日光の乱反射が強く、海面が白く映った。
- これらのことから、藻場面積の算出に使用することはできなかった。

#### ■オルソ画像とは？

ドローンカメラで細かく何枚も撮影した画像を、写真上の像の位置ずれをなくし空中写真を地図と同じ、真上から見たような傾きのない、正しい大きさと位置に表示される画像に合成変換したものの。

- ② 愛の浜リーフは、震災後整備されたコンクリートブロックの高上げ礁であり、海面の反射も少なく、きれいにオルソ画像へ合成でき、藻場面積算定を行えた。

### (3) 今後について

天然藻場の面積算出が困難であることから、令和5年度をもって事業終了。